



## 「TDC若手支援セミナー デンタルナビゲーション」 ～研修医から臨床医へ～

### 実力アップの学び方

鈴木 尚

研修医の皆さんは新年を迎えると、間もなく臨床歯科医師として社会に一步を踏み出すはずですが、入学以来、長く続いた指導される立場からいよいよ自立することになるのです。

指導に当たってきた多くの諸先輩は、社会に通用する立派な歯科医師を目指してほしいと考えているでしょう。そんな思いで研修医の皆さんの背中をもうひと押ししたいと考えて**七つの提言**としてまとめてみました。一年間の研修成果をさらにアップさせるためのメッセージになれば嬉しく思います。

#### 提言 1. 社会人としての歯科医師になる

研修医を終えるということは社会人になることと同じです。そこには社会人としての「常識」がなければなりません。

#### 提言 2. 歯科医師としてのプライドをもつ

大学で教わった医学を正しく実践することが必要です。

#### 提言 3. 歯科医療の特徴を理解する

臨床歯科医療を実践するためには、その特徴を理解しなければなりません。そうすることによって実践するための基本が分かってくるのです。

#### 提言 4. 歯科医療の学び方を知る

自立するという意味は「生涯研修」を自らが実践することです。そのためには「学びの戦略」があるはずですが、それを知ることでより効率的で実のある学びができるのです。

#### 提言 5. 臨床をスムーズに進めるために

臨床を進めるためには常に患者さんの理解力を高める姿勢が必要です。そのためには病態をしっかりと伝える技術が必要です。

#### 提言 6. 臨床の多様性を理解しよう

患者さんには一人ひとり違った個性があるように、症状の訴え方もまちまちです。その症状を治療につなげるためには「患者さんの多様性」を理解しておかなければなりません。

#### 提言 7. 学びから目指すものは何か

歯科医療はまだまだ素晴らしい職業です。そのためには最小で 8 科目の臨床をモノにしなければなりません。その基本は何時まで経っても「錆びない臨床力の宝」なのです。

— 歯科医療はまだまだ形を変えながらも伸びる分野です。皆さんは大きな夢を持つべきでしょう。その夢を実現するには臨床を好きになる心と楽しむ力、そして尽きることのない好奇心を持たねばなりません —